

紀州の文左衛門末裔が、荒波を乗り越えアフリカ開発に挑む！
果たしてアフリカを世界一豊かにする英雄になれるか？

<辻本裕一の夢>

- ① バッタ捕獲と養殖魚飼料化。現地に飼料工場・水産加工所建設。養殖所開設。
- ② マンゴジュース製造。キヤッサバ生産、焼酎蒸造所建設。
- ③ 砂漠地帯の灌漑工事。手始めにソマリアのドーロ地域をジュバ川の水で潤す。

人口 50 万人難民帰還農場を造成する。既に、サバ博士右田孝宣氏の指導を得て串本町で、養殖技術を学び、アフリカ開発の大先輩、小田兼利氏の、全面的な支援を得て、2018 年からマンゴ酒製造ノウハウを学び、2020 年初頭にはバッタ捕獲の実証、霞網製造実証、養殖魚用飼料化の実証と、具体的に事業化を進めてきた。

アフリカ進出は、POLY-GLU 浄水場普及国を「前線基地」として、当該国との協働事業を原則とする。本計画の公表が今日に至った理由は、前澤友作氏も本事業に関心を示したことから、資本参加を前澤氏に求めた結果、3 ヶ月も待たされ断られた経緯がある。前澤氏に依頼することに対し小田兼利氏は猛烈に反対した。小田氏曰く「あの遊び人には、アフリカで真面目に仕事に取り組む根性など無い」「命懸けで取り組まねば、アフリカの人々に失礼だ」「前澤氏が断ってくれてよかった」と散々だった。

江戸時代の文左衛門翁の冒険に比べ、現代のアフリカは身近過ぎるくらいだ。

本事業は計画段階が少し前に進んだところです。

アフリカと共に、地元紀州の町興しも期しています。

3、July、2020

蝗害対策を活かしたタンパク源の確保事業
プロデューサー 辻本裕一

本事業概要は以下の URL を参照してください。

https://locust.amebaownd.com/pages/4008421/page_201602191746